

InvestHK

アセット&ウェルス・マネジメントのハブへ：香港の新たな推進策

Limited Partnership Fund および Wealth Management Connect Scheme の新規導入、また、今後予定されているプライベート・エクイティ関連施策により、香港は、世界のアセット&ウェルス・マネジメント（富裕層向け資産運用・管理）の卓越したハブとしての地位を向上させていきます。

香港がアジアの国際アセット&ウェルス・マネジメントの拠点として選ばれる存在になるため、その競争力向上を目的として、政府は新たな経済的機会、シナジー、金融サービス需要を生み出すための複数の施策を導入しました。

Limited Partnership Fund

Limited Partnership Fund (LPF) 条例により、新たな制度が2020年8月31日に始まりました。これは、プライベートファンドが香港で有限のリミテッド・パートナーシップ形態で登記することを可能にするものです。初日には11件の申請があり、その多くが投資のテーマとして広東・香港・マカオ大湾区（GBA）をターゲットとするファンドでした。

この新たな制度では、プライベート・エクイティ（PE）、ベンチャーキャピタル、インフラファンドなどの民間投資ファンドが香港に拠点を置き運営するにあたり、活用しやすい、新たな法的枠組みが設定されます。

LPFは、投資家の利益のために投資を管理することが目的で作られる有限パートナーシップ形態の基金です。LPF制度での登録要件を満たすファンドには、ファンドの負債に無限責任を負うジェネラル・パートナー1名と、有限責任のリミテッド・パートナー1名以上で構成する形態が求められます。また、LPFとしての登記を会社登記所（Companies Registry）で行うことと、香港に事務所を有し登記することも要件となっています。公募を実施しない場合は、証券先物委員会（SFC: Securities and Futures Commission）の認可は必要ありません。資格要件を満たしていれば、手続きは数日で完了します。

登記の仕組みの詳細については、香港会社登記所のホームページをご覧ください。



Wealth Management Connect

この数年の間、ストックコネクトやボンドコネクトの成長により、中国本土と香港との間の資金フローが促進されてきました。中国本土の資産の伸びにより、オフショア資産への分散投資需要がますます拡大しています。中国人民銀行、香港金融管理局、マカオ金融管理局は2020年6月29日、広東・香港・澳門大湾区（大湾区）におけるウェルス・マネジメント商品への越境投資の拡大推進を目的として、大湾区で「越境ウェルス・マネジメント試験スキーム」を開始すると発表しました。このスキームでは、大湾区内の中国本土投資家は、香港とマカオのウェルス・マネジメント商品に投資することも可能となり、またその逆も可能となります。香港金融管理局は現在、規制当局および当該業界と緊密に連携して、スキーム実施の詳細を検討しています。

成功報酬の優遇税制措置

税制面でも、香港のPEプラットフォームとしての競争力強化を目指した政府の施策が開始されます。陳茂波（ポール・チャン）財政長官が今年の政府予算案発表時に明らかにしたとおり、政府はファンドの成功報酬に対してきわめて競争力の高い優遇税制措置を導入する準備をしており、2020～2021年度に遡及して適用する予定です。

証券先物委員会（SFC）の施策強化

証券先物委員会（SFC）は2020年9月、オープンエンド型投資ファンド法人規定（OFC Code）の改正規定を施行したことを発表しました。この改正には、香港では民間のオープンエンド型投資ファンド法人（OFC）は投資制限対象にはならないことや、OFC管理会社の適格要件を拡大することなどが盛り込まれています。

さらに、SFCは、証券先物条例（Securities and Futures Ordinance）におけるシングルファミリー・オフィスとマルチファミリー・オフィスのライセンス制度に関する追加の指針を出しました。

詳細について：



お問い合わせ先：

ディクソン・ウォン（Dixon Wong）
金融サービス部 部長
☎ (852) 3107 1085
✉ dixonhtwong@investhk.gov.hk

国際イベント・スケジュール

11月2日～6日

Hong Kong FinTech Week 2020

1週間にわたり、マルチトラックで開催される会議、FintechHK Global Final、Global Fast Track Program、展示会、商談会、交流会、デモンストレーション等がバーチャルで行われます。

主催：インベスト香港

▪ FinTechweek.hk

11月3日～4日

Cyberport Venture Capital Forum (CVCF) 2020

バーチャルで開催される本フォーラムでは、テクノロジー系の起業の最新の動向や見通し、そして、今後スマートビジネスの機会を生み出すのは何かをとりあげます。

主催：香港サイバーポート

▪ cvcf.cyberport.hk

11月6日

日本企業向け FinTech オンラインセミナー

同年次フォーラムは、地域内各地の船舶・船舶金融関係企業を対象とし、市場の動向や業界トレンドについてのディスカッションを行い、ネットワーキングの場を提供します。

開催時間：15:00～16:00（日本時間）

主催：インベスト香港、一般社団法人 Fintech 協会

11月9日～13日

Digital Week

Cosmoprof Asia による初のオンラインイベント。国際企業が世界のビジネスプロフェッショナルと出会い、自社を紹介する機会となります。

主催：Cosmoprof Asia Ltd, BolognaFiere Group, Informa Markets Asia Ltd.

▪ cosmoprof-asia.com/en-us/Digital-Week

11月11日～13日

Restaurant and Bar Hong Kong (RBHK) x Gourmet Asia

高級食品・飲料やグルメ製品に特化した本イベントには、料理や飲料の関係者・専門家やレストランのオーナーが来場します。

場所：Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催：Informa Markets

▪ rbhk-ga.com



11月17日～18日

Asian Logistics, Maritime and Aviation Conference (ALMAC) 2020

本年次イベントが、今年オンライン開催となります。アジアのロジスティクス、航空貨物、サプライチェーンマネジメント、海運等、各業界における最新の動向とビジネスチャンスについてとりあげます。

主催：香港特別行政区政府、香港貿易發展局

▪ almac.hk

11月30日

Belt and Road Summit 2020

本サミットには、「一帯一路」周辺およびその他の国・地域から政府高官、ビジネスリーダーが出席し、多国間協力についての意見交換をおこない、具体的なビジネスチャンスを模索します。

場所：Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催：香港特別行政区政府、香港貿易發展局

▪ beltandroadsummit.hk

12月1日～3日

Web Summit Conference

バーチャルで行われる本会議では、インターネット技術、エマージング・テクノロジー（最先端技術）、ベンチャーキャピタリズムにフォーカスします。

主催：Web Summit

▪ websummit.com

■ **インベスト香港主催行事**

詳細については、www.investhk.gov.hk をご覧ください。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

特集：

香港を活用した**一帯一路**関連プロジェクトの実現

一帯一路構想は、21世紀における包括的国際協力実現に向けた将来を見据えたビジョンとして、2013年に習近平国家主席が提唱したものです。この構想はさまざまな大陸の国々に広がるもので、陸上のシルクロード経済ベルトと21世紀海上シルクロードから構成されています。

香港はこの構想において重要な位置づけにあり、高度な接続性を有する国際金融センターと専門サービスのハブであるといった強みを持ち、また、アジアからヨーロッパに至りさらに広がる一帯一路圏において政府間、企業間、市民間の堅固な連携もあります。こうした強みをいかして、香港は、これまでにないほど有望な商機を生み出していきます。

インベスト香港では、今年、企業の一帯一路に関連した取り組みを成功に導くための香港活用法を紹介する小冊子を発行する予定です。主要データや数値、ケーススタディ、役立つリンクなどを盛り込んだ内容となります。商機の見込まれる主要4分野は次のとおりです。金融サービス、研究開発（R&D）、法律・仲裁、デジタル一帯一路です。

金融サービス

香港は、世界有数の金融センターであり、資本市場の流動性や通貨の兌換性が高く、ヒト・モノ・情報の自由なフローも確立されています。株式市場の時価総額、新規株式公開による資金調達、アセットマネジメント、銀行業、保険業においても、つねに世界のトップクラスにあります。アジアの中心に位置し、ヨーロッパや北米の主要金融ハブ以外にも、一帯一路沿線諸国との確実で安定した接続性を確立しており、24時間体制で世界の金融取引に携わっています。また、中国の国際金融ハブとして、最大のオフショア人民元ビジネスセンターとしての地位を確立しているとともに、現在進められている人民元の国際化や様々なストックコネクトやボンドコネクトを通じた越境金融における接続性においてもその取り組みの先頭に立っています。

研究開発

香港のイノベーション力を支えているのは、中国本土および世界各国との強い接続性、高度な研究開発力、世界トップクラスの大学、そして堅固な知的財産権保護です。政府は、産業界における研究開発・イノベーションの協業を推進するため、ソフトとハードの両面で卓越したサポートを提供し、活気あふれるエコシステムの構築を目指した取り組みを行っています。さらに、香港は、テクノロジー関連のスタートアップ・ハブとしての地位を急速に高めています。政府は、香港の研究開発機関や大学と協力して、テクノロジー関連のスタートアップ企業の成長を推進する環境作りを行っています。政府の施策としては、ターゲットを明確にした資金調達プログラム（例：ベンチャーキャピタルの投資を呼び込むためのベンチャーファンドプログラム）、研究開発投資を奨励するための減税制度、主要テクノロジー分野の研究開発クラスター設立、隣接する深圳市との香港-深圳イノベーション科学技術パークの共同開発などがあります。

政府は、イノベーション&テクノロジー（I&T）の発展を次の主要8分野で推進しています。研究開発リソースの増強、テクノロジー人材の確保、投資による資金供給、I&Tインフラの整備、既存の法規制の見直し、政府保有データの公開、調達の仕組みの変革、科学教育の強化です。この8分野でのさまざまな取り組みに対し、これまでに1,000億ドル超を投じてきています。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

法律・仲裁のハブ

香港には、多様な法律サービスの専門家や法律・紛争解決サービスに携わる一流の国際組織や地域組織が拠点を置いており、こうしたことにより、法曹界の人材は、国際的人材、ローカルの人材ともに、層が厚く多様で、取引や紛争解決の場として香港が選ばれています。私的所有権（知的財産権を含む）の堅固な保護には欠かせない、成熟した法律関連インフラストラクチャーがあってこそ、香港はアジアのビジネス・金融ハブとして成功しています。香港は、法の支配において、世界経済フォーラムの「2019年世界競争力レポート(Global Competitiveness Report 2019)」ではアジア第2位、世界銀行グループの「世界ガバナンス指標(Worldwide Governance Indicators)」ではアジア第2位、世界で第11位となりました。また、ケイトー研究所(Cato Institute)の「2019年人間の自由度指数(Human Freedom Index)」では、10点満点中、司法の独立性で8.6、法の完全性で8.3、全体では8.81を獲得し、アジアで第1位、世界では第3位となりました。

香港はまた、仲裁と調停による紛争解決において世界有数の都市です。香港の仲裁判断は、160を超えるニューヨーク条約締約国において執行可能です。またこれは、香港の持つ中国本土およびマカオそれぞれとの相互執行のための取り決めによって補完されます。また、ロンドン大学クイーン・メアリー校が実施した国際仲裁調査によりますと、香港は2015年以来、仲裁地の選好で世界トップ5に入っています。

デジタル一帯一路

デジタル技術は今後の経済発展を牽引していく新たな力であり、また、一帯一路圏内諸国間協力の鍵を握るものとしてその重要性を増してきています。デジタル・インフラストラクチャーとスマートシティ開発に注力してきている香港は、デジタルシルクロードの発展において重要な役割を果たしています。香港は世界有数のデジタル経済であり、デジタルレディネスやインターネットの接続性においてつねにトップにランクインしています。香港には11の海底ケーブルシステムがあり、海外との通信にかかわる通信衛星が11機あります。今後2~3年の間にも複数の海底ケーブルシステムが開通予定であり、香港と世界各国との接続性はさらに向上します。大手通信各社は2020年第2四半期に5Gサービスを開始しています。

企業が一帯一路構想に沿った展開に向けて香港を選ぶべき理由は数多くあり、ここでご紹介したのはその一端にすぎません。小冊子の詳細情報については、下記にお問い合わせください。

デイビッド・ウォン (David Wong)
戦略研究部 部長
☎ (852) 3107 1494
✉ davidwong@investhk.gov.hk

特集：

Smart Government Innovation Lab

政府機関による IT ソリューションの採用を促進



香港特別行政区政府は、香港におけるイノベーション&テクノロジー（I&T）の発展を長期にわたって奨励してきています。2019年4月には、政府の調達におけるイノベーションの活用を推進する新たな政策を正式に施行しました。この政策は、政府機関等がモノやサービスを入札によって調達する際、入札内容の評価にあたって革新的な提案に重点を置くよう奨励することを目的としており、原則として入札参加者の経験・実績を必須要件として定めないこととしています。政府最高情報責任者弁公室（OGCIO）は政府機関によるI&T導入を推進するため、Smart Government Innovation Lab（スマートラボ）を2019年4月に設立し、政府機関が公的サービスの向上を目的としてさまざまなITソリューションをとりいれることができるよう、産業界からの積極的な参画を促しています。スマートラボと政府による新たな調達政策とが組み合わさることにより、香港の産業界にさらなるビジネスチャンスが創出されます。

政府機関と産業界の連携を実現

スマートラボは専用ウェブサイト（www.smartlab.gov.hk）を立ち上げ、さまざまな公共サービスが直面している課題を掲示し、産業界からの、テクノロジーを活用した解決策や製品の提案を募集しています。

また、産業界とのリエゾンオフィス（連絡窓口）を香港のサイバーポート内に設置し、政府機関が試験採用中、あるいは試験の結果、本採用に至ったテクノロジーの一部を展示・紹介し、政府機関によるテクノロジーソリューション導入拡大につながることを狙いとしています。

スマートラボでは、政府機関が産業界との連携を強化するため、フォーラムを定期的開催しています。産業界からの参加者がそのテクノロジーソリューションを政府機関に紹介するだけでなく、政府のニーズをよりよく理解し、適切な分野でスマートラボに提案することが



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

できるよう支援しています。2020年9月までに、サイバーポート (Cyberport)、香港サイエンスパーク (the Hong Kong Science Park) や香港生産力促進局 (Hong Kong Productivity Council) との共催で、5回のテクノロジーフォーラムを開催（うち2回はオンライン開催）し、フォーラムの参加者は1,760名を超えました。

触発と協創

さまざまな政府機関の事業ニーズに対応するため、スマートラボは I&T 業界との交流を通じて適切なテクノロジーソリューションを積極的に調達しています。また、さまざまなテーマのワークショップやソリューションのアイデアを実証する (proof-of-concept : PoC) 機会を提供し、各政府機関がそれぞれのニーズに合ったソリューションや製品について理解を深めることにより、今よりも効果的な調達要件を策定できるよう支援しています。ソリューションを提供する企業側にもフィードバックが共有されますので、ユーザーや市場のニーズに適した製品開発につなげていくことができます。これまでにスマートラボがマッチングした事業ニーズとソリューションは34件で、その過程で、各政府機関を対象に44のテーマ別ワークショップと19のソリューションのPoC試験が実施されています。また、現在、合計8プロジェクトが実装試験中またはその準備段階にあります。



これまでの進展を活かし、スマートラボは今後も引き続き政府機関と産業界との協創を強化し、公共サービスの利便性向上や、より市民本位のサービスを実現するために、政府機関が I&T を導入するよう促進していきます。



Engagement

Solution
Matching

Proof-of-
Concept

Adoption

Smart Government Innovation Lab

<https://www.smartlab.gov.hk/en/index.xhtml>



香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局